

市民活動センター在り方検討 アンケート集計結果

1 回答者の属性

1- (1) 年齢

- ・ 60代以上が57%を占めており、全体の31%が70代

1- (2) 性別

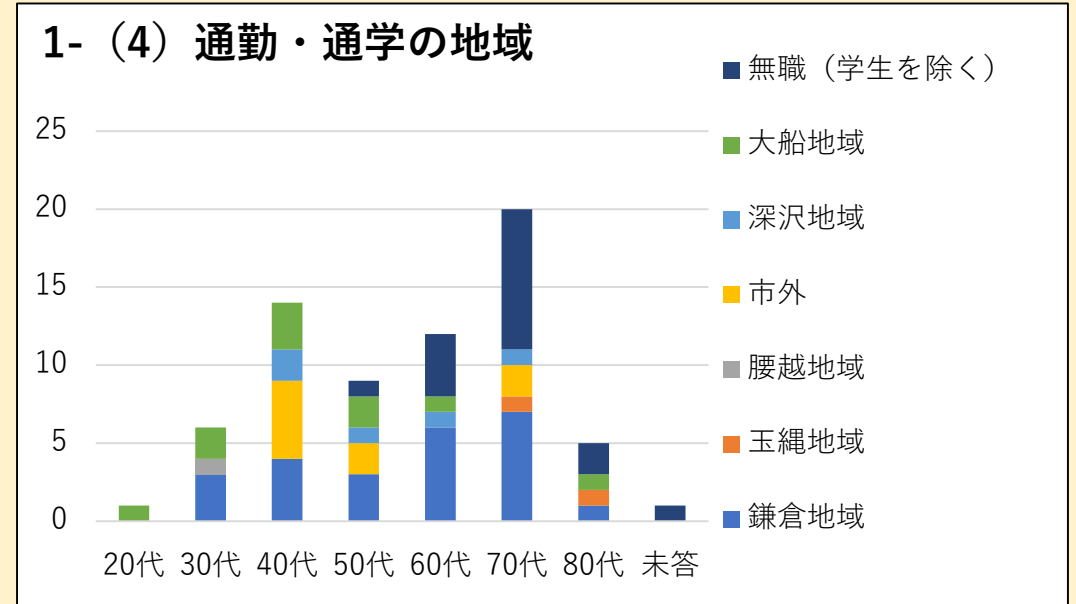
- ・ 男性56%、女性44%と、大きな差はない

1- (3) 居住地

- ・ 鎌倉市の人口分布とほぼ同じ分布となった

1- (4)

- ・ 鎌倉地域の次に無職の数が多い（25%）のは、セカンドライフを迎えた60代以降が多いため（右表）。



2 市民活動、センターとの関わり

2-（1）市民活動に関わりがあるか

- ・回答者の97%が関わりのある方であった

2-（2）活動の規模

- ・鎌倉市全域の回答が最も多く38%、次いでサークル等が29%

2-（3）所属団体

- ・任意団体が約半数の46%、次いで法人化団体が39%

3-（1）市民活動センターを知っているか

- ・回答者の93%が知っていると回答

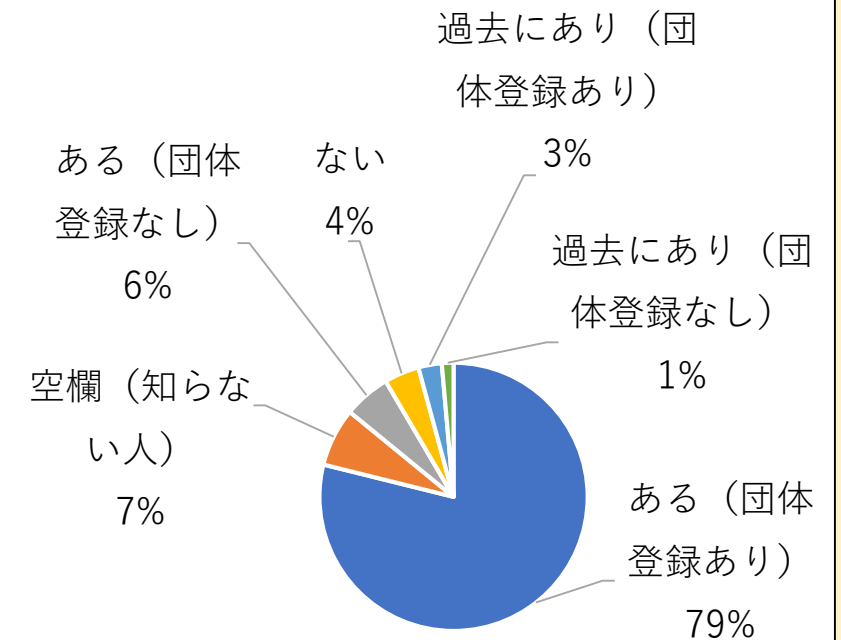
3-（2）市民活動センターを利用したことがあるか

- ・回答者のうち89%が利用したことがある方であり、
現在もセンターに登録しながら利用していると回答した方が79%であった

3-（3）普段どこの市民活動センターを利用するか

- ・鎌倉が約半数の52%、大船が20%、両方利用すると回答したのが16%であった

3-（2） 利用経験



3 満足度、利用機能、不足機能

3- (4) ア 市民活動センターの現状の「機能」に満足か

- ・普通が最も多く37%、やや満足以上の合計は約30%、やや不満以下の合計は約20%

3- (4) イ 市民活動センターの現状の「対応」に満足か

- ・普通が最も多く38%、やや満足以上の合計は約40%、やや不満以下の合計は約10%

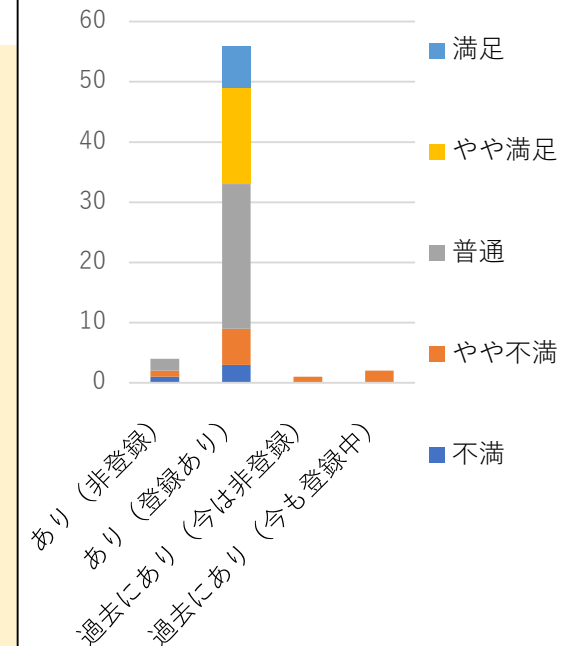
3- (4) エ 市民活動センターでよく利用する機能

- ・会議室の利用が21%、印刷は19%と、ハードに関する上位2件の利用の合計が約40%と最も多い
- ・ハード利用に続き、ソフトに関する機能の情報収集・相談・交流が並んでいる。

3- (4) カ 市民活動センターで不足していると感じる機能

- ・その他と回答した人が20件15%で最も多く、「不足は特になし」といった意見が7件であった
- ・その他を除くと、最も多い回答が相談先の紹介（マッチング）の約14%、次いで先進事例の調査、交流機会の提供と、ソフト機能が並ぶ

利用経験と満足度の相関



4 利用しなくなったり、 利用していない方の意見（少数意見）

3-（5）イ 利用しなくなった理由で最もあてはまるもの（回答数＝3件）

- ・相談機能の不足、会議室の不足、その他

3-（6）イ 利用していない理由で最もあてはまるもの（回答数＝3件）

- ・どのようなサービスを受けられるかが分からない、情報発信不足、その他（マッチング機能不足、フリースペースの無さ）

5 今後、センターを利用したいと思うか

3-（8）今後、市民活動に参加したり、自ら団体を作る場合に、市民活動センターを利用したいと思うか

- ・思うと回答したのが77%で最も多く、わからない・思わない・（センターをしらない人）の合計が23%であった。利用したいと思わない理由については、他施設の支援力には敵わないといった意見がみられた。

6 充実させてほしい機能、不要な機能

4-（1）ア 充実させてほしい機能

- ・相談先の充実・情報発信・交流の機会の提供・情報収集など、上位6番目までの約60%がソフトに関する機能に関する回答となった
- ・その他の回答としても、「協働のコーディネート機能」や「マッチング」、「交流の場」等の意見が多くみられた。

4-（2）ア 不要だと思ふ機能

- ・印刷、コピーが最も多く18%であり、次いで登記所在地機能が15%であった。
- ・3番目に多かった「その他」について、その意見のほとんどが「不要な機能は無い」という回答となった。

7 鎌倉・大船センターの統合について

4-（3）統合に支障があるか

- ・「ある」、「ない」、「わからない」の回答がそれぞれ約3割となり、回答が分散した。
- ・「ある」と回答した方の具体的意見としては、身近に活動拠点が必要であるというものや、交通の利便性の問題から、統合すると支障があるという意見が見受けられた（両センター）。

8 活動の場・困りごとについて

5- (1) 現状の「会議室」に満足しているか

- ・普通が半数以上の56%、やや不満・不満の合計が36%となった。

5- (2) 市民活動センターは、どのような場の提供が最も必要か

- ・個室の会議室が38%、フリースペースが32%とほぼ同率であった。

5- (3) 会議をするとき、普段どのような施設を使うか

- ・市民活動センターの会議室の27%と最も多く、カフェ等が15%、自宅が14%であった、
なお、オンライン会議は全体の22%を占めている。

6- (1) イ 最も困っていること

- ・担い手不足及び高齢化がそれぞれ20%と上位2件を占めており、次に資金調達19%と続いた

6- (2) イ 最も相談したい内容

- ・資金調達が最も多く22%で、若年層の活動者の取り込みが20%となった

6- (3) イ 今後市民活動センターで、どのような場の提供がされると魅力的と感じるか

- ・若年層との交流の場が最も多く27%、次いで同じ領域の団体との交流の場が22%となった